



岡山理科大学専門学校

建築と動物そして水生生物のスペシャリストを養成。学生、保護者、学校、地域、関連業界の皆様へ支持され愛される学校を目指します。



本校は、開校以来42年目を迎え、節目の50周年に向けて、企業・業界団体との連携を軸に、より質の高い教育を目指します。さらに、文部科学省が推進する

高度職業実践の高等教育機関創設という将来展望に対し、柔軟に対処できるよう、将来性を意識した学校運営に取り組んで参りました。

重点施策としては、

1. 業界団体の意見や要望に応え得る人材育成のために、職業人育成に主眼を置き、教育内容の改善を行いました。
2. 「職業実践専門課程」を有する学校として、業界団体等が行う技術研修への教員派遣を積極的に進め、教員の資質向上に努めました。
3. より実効性のある教育体制を構築するために、教員組織の改善に取り組みました。
4. 変遷する社会のニーズを真摯に受け入れるべく組織した将来構想検討会議の協議・検討内容を校内組織に浸透させました。
5. 本校の価値を伝えるという意識を全教職員が共有し、学校ブランディング効果を上げることができました。

岡山理科大学専門学校 校長 村岡 正



■全学科の「職業実践専門課程」認定に向けて

- ・ トリミング学科とドッグトレーニング学科の再・改編を行い、申請条件をクリアできるよう具体的な取り組みを行う。
- ・ 既存認定学科の更なる教育の質向上に努め、認

教育の充実

■全学科の「職業実践専門課程」認定に向けて

- (1) トリミング学科とドッグトレーニング学科の再・改編を行い、申請条件をクリアできるよう具体的な取り組みを行いました。次年度も、継続的に検討を行う予定です。
- (2) 既存認定学科の更なる教育の質向上に努め、認定効果を広くPRして、学校の存在価値と評価を高めることができました。

■動物看護師としての実務指導の充実

- (1) 新たに猫の飼育を取り入れ、看護実習に供与しました。

■教育課程の再編

- (1) 全学科の教育課程変更に伴うシラバスの改定を行いました。
- (2) 動物看護学科3年制（高度看護医療・臨床検査コース）において、動物医療機関と協力して動物の各種臨床検査の実務教育充実を図りました。

研究の充実

■産官学連携の教育

- (1) 関連団体等主催の各種研修会への教職員派遣を推進し、最新の技術や知識を修得させ、教員個々

の研究力向上を図りました。

- (2) 校内倫理委員会を昨年度設け、獣医療研究を推進に寄与できる体制にしました。

学生支援

■生活支援

- (1) カウンセラーの在校頻度を高め、学生の心のケアサポートに努めました。今年度は、学生および教職員合わせて、相談件数85件になりました。
- (2) 学校便り（R i S E N通信）を年2回（6月と11月に）発刊し、保護者へ郵送することで、保護者の学校理解を促進することができました。

■修学支援

- (1) 資格試験に向けた補講・補習に努めました。
- (2) チューター制を活かした学習相談の充実を図りました。

■就職支援

- (1) 一部の学科にはカリキュラムの中にキャリアデザインを1年次後期より開講し、職業人意識の高揚を図りました。
- (2) インターンシップを促進し、就職のミスマッチをなくすと共に就職の機会を拡大することができました。
- (3) 卒業生の就職先を訪問し、事業者と卒業生の声に耳を傾け、早期離職者の低減に努めることができました。

・ 就職活動ガイダンス

1 年生	4 月	キャリア教育講座 インターンシップ講座(1)(動物看護)
	6 月	職業理解と労働法規講座 インターンシップ講座(1)(トリミング、ドッグトレーニング)
	12月	履歴書の書き方講座(1)(アクアリウム)

1 年生	1 月	履歴書の書き方講座(1)(建築、動物看護、ドッグトレーニング、トリミング) インターンシップ講座(1)(トリミング、アクアリウム)
	2 月	合同企業説明会参加マナー講座(1)
2 年生	4 月	履歴書の書き方講座(2)(建築) 面接講座 インターンシップ講座(2)(動物系各学科)
	5 月	合同企業説明会参加マナー講座(2) 内定礼状の書き方講座(トリミング)
	6 月	内定礼状の書き方講座(建築、動物看護、ドッグトレーニング、アクアリウム)
	7 月	合同就職面接会参加マナー講座(3)

■留学生支援

日本語教科書の読解のサポートと日常生活支援に努めており、効果を上げることができました。

社会連携・社会貢献

■地域との交流

地元地域の行事に積極的に参画し、学生による水生生物の自然環境を守るため、川のゴミ拾いや掃除、動物愛護週間における動物愛護の街頭呼びかけボランティア活動を実施いたしました。

教育研究環境

■施設の充実

- (1) 学生利用施設の点検・補修に努め、快適な学校生活の充実を図ることができました。
- (2) 学校入り口の環境美化を実践しました。

学生の受入

■受験生との接触機会の拡大

- (1) 資料請求実績の高い地域・高校での進学説明会へ数多く参加し、直接的なPRを行いました。
- (2) SNSなどを利用したスマートフォン向けの情報発信も行いました。
- (3) 高い就職実績と資格取得率のタイムリーな情報を高校訪問時に提供して、高校側の進学生徒の動向把握要望に対応しました。
- (4) 社会人学生の受入を推進するために、ホームページ等に職業訓練給付制度の記載を行い対応しました。
- (5) オープンキャンパスにおいて、在校生を活用した学校PRの強化を行いました。
- (6) 今年度においても、全教職員で一斉広報活動を展開しました。
- (7) 志願者動向を踏まえ、募集定員の見直しを検討しており、次年度に向けての課題となりました。

内部質保証

■FD・SD

- (1) 校内教職員研修規定に則り、教職員研修を推進し、教職員の資質向上を図りました。
- (2) コンプライアンスの徹底を図り、信賞必罰の周知を行いました。
- (3) 本校の価値を測定し、価値を高める施策により、教職員の学校ブランド意識の共有化ができました。

その他の取組

■効率よい授業展開

授業担当者の見直しを進め、校内の人的資源を有効に配置することで、教育内容の向上に努めることができました。

■家庭で出来る犬の健康の開催

本校教員と学生が、犬と人の関係や関わり方について一般の飼い主さんとその犬たちに伝えるイベントにおいて、本校の実習や授業を活かし、動物系学科の校外活動の一貫として、常日頃学校で学んでいる当たり前のことが、一般の飼い主さんにとって、人と動物のより良い関係づくりや生活する上で役立つと考え、ヘルスピア倉敷で、11月12日・13日の2日間に実施しました。71名とその犬たち36頭が参加し、一般の方々に動物との接し方や関わり方を伝えることが出来ました。今後は、更に発展させていきたいと考えています。

主な行事

4月8日	入学式
4月9日 11、12日	オリエンテーション(夜間部) オリエンテーション(昼間部)
4月11日 14日	授業開始(夜間部) 授業開始(昼間部)
6月16日	球技大会
7月18日 ～8月21日	夏季休暇 (夜間部 8/1～)
9月5日 ～10日	前期末試験
9月28日	後期授業開始 (夜間部 10/3～)
10月22日 23日	Risen祭
12月24日 ～1月5日	冬期休暇
1月30日 ～2月3日	後期末試験 (夜間部 2/14～18)
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成28年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	49	80	93
	建築学科(夜間部)	20	21	40	42
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	—
	計	60	63	120	135
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)		—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	7	90	27
	" 2年制	20	26	40	46
	トリミング学科	40	24	80	42
	ドッグトレーニング学科	40	22	80	49
	アクアリウム学科	40	38	80	73
	計	170	117	370	237
合計		230	180	490	372
専攻科	建築学科専攻科	10	12	10	12
研究科	動物系総合学科研究科	10	11	10	11

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成28年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
岡山理科大学専門学校	182	137	132	96%	27	27	3	4

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成29年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	(株)荒木組、岡山市役所、(株)山陽設計、トヨタホーム岡山(株)、ACC福山総合動物医療センター、介護老人保健施設 おとなの学校 岡山校(ドッグセラピスト)、倉吉動物医療センター・山根動物病院、アダチペットショップ、ドッグサロン バナナ、tomoドッグスクール、(株)池田動物園(岡山県鳥獣保護センター)、ペットショップヤマモト、岡山中央魚市(株)、ジャパンマリネポニックス(株)、(株)ファームスズギ、他99社
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■教職員数

(平成28年5月1日現在)

校長	教員	教員 計	事務職員
1	12	13	12

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度		
		28年度 決算額	前年度 決算額	
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	315,387	322,572	
	経常費等補助金	64	66	
	その他収入	63,420	3,982	
	計	378,871	326,620	
	教育活動収支差額	49,587	9,806	
教育活動 支出	人件費	228,546	219,248	
	教育研究経費	73,051	71,513	
	管理経費	27,687	26,053	
	その他支出	0	0	
	計	329,285	316,814	
教育活動外 収入	受取利息等	1	20	
教育活動外 支出	借入金利息等	246	966	
教育活動外収支差額	△245	△946		
経常収支差額	49,341	8,860		
特別	収入	資産売却差額等	193	905
	支出	資産処分差額等	△12	120
	特別収支差額	205	785	
基本金組入前収支差額		49,546	9,645	
基本金組入額合計		△24,257	△35	
当年度収支差額		25,289	9,611	

■施設設備整備事業

(単位：千円)

事業名	金額
第三校舎2階キャットルーム設置	500